広報 あさし

グラフ特集

松尾監督来町

特　集

3月定例議会

学ぶ喜びに輝くひとみ

―「1年生は今……」泊小1年生の教室から―

5 MAY 1984 NO. 345

▲楽しく練習することが大切と２人が手をつないでドリブルする方法を伝授

▶豆ラガーの中に入ってスクラムの指導。

友好都市へトライ

かめら散歩

縁結びの懸け橋役として

ラグビー界のスーパースター

新日鉄釜石の松尾監督が来町。

ラグビー日本選手権で連続Ｖ６に輝いた新日鉄釜石の松尾雄治監督が、３月25日に当町を訪れ、スポーツ少年団の指導と講演をされた。

これは、町が町制施行30週年を記念して、町の出身者の多くが活躍しているなど〝人的なつながり〟の強い岩手県釜石市に友好都市の縁結びを働きかけていたことから、釜石市と新日鉄釜石製鉄所の協力で実現することになったもの。

当日は、午後３時半から町民総合グラウンドで、蛭谷ラグビースポーツ少年団や魚津市のラグビースポーツ少年団を指導。全日本のウインドブレーカー姿の松尾監督みずから子供たちといっしょにスクラムを組んだり、ランニングパスやドリブルの練習方法を伝授するなど熱心に指導。また、午後７時から町中央農協会館で「ラグビーわが人生」と題して講演。指導の時と打って変わったリラックスムードで、ユーモアたっぷりに話し、会場に押し寄せた聴衆を大いに笑わせた。

このように松尾監督は、当町と釜石市との友好都市縁結びの懸け橋役として、大いにサービスし帰国された。

◀「頭を下げないで」「一、二、三それ！」とスクラムの指導

●かめら散歩②

▼夜の講演では，ユーモアたっぷりで満員の会場はわきあがった

かめら散歩③

第1回朝日町議会定例会（3月）より
今期定例会から事前通告制を採用
59年度当初予算など28議案を可決・承認・同意

昭和59年の第1回朝日町議会定例会は、3月9日から3月24日まで、会期を16日間として開会し、本会議ならびに各常任、特別委員会で慎重に審議され、昭和59年度の朝日町一般、特別、事業会計予算及び条例制定など、28議案が原案のとおり、可決、承認、同意、答申されました。

また、請願4件、陳情2件については、継続審査5件、審議未了1件の決定がされました。

常任委員長報告

総務教育委員会

付託案件については、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において次の要望・意見がありました。

1 学校内における不十分な管理を要因とする死亡事故が、問題になっている折りでもあり、当町の各小・中学校に対し、人事、施設などの管理を徹底し、不慮の事故の防止に努められたい。

2 学校火災に備え、重要書類を保管する耐火書庫等が設置されていない学校も見受けるので、設置方に鋭意努力されたい。

3 社会教育の充実を図ると共に若者定住施策の一環として、各地域における青年、各種団体等が企画する「魅力ある行事・活動」に対し、助成制度を前向きに検討されたい。

4 企業誘致等の施策もさることながら、当町の恵まれた自然環境を生かして、観光等の中・長期計画を策定するなど、公害や汚染のない住みよい朝日町の将来を展望する計画の策定に取り組まれたい。

5 通勤・通学者の利便性を図る見地から、駅周辺での公営駐車場の早期実現に向け、鋭意努力されたい。

請願の「大型間接税導入反対について」は、諸般の状況を勘案のうえ、継続審査にすべきものと決した旨、報告されました。

環境厚生委員会

付託案件については、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の要望意見がありました。

1 し尿汲取り料金の値上げについては、隣接市町村の動向もさることながら、業者から提出される算出基準等の内容を分析するとともに実態をよく把握し、業者の立場と利用者の立場を総合的に勘案し、当町の実状に合った料金値上げに、十分な配意をされたい。

2 老人保健法施行にあたり、予防行政等の円滑な執行を図る見地から、現機構の見直しを検討されたい。

3 今期定例会に上程中の補正予算（第7号）において、県負担金の減額計上で適正さを欠く面が見受けられるので、今後、十分配意されたい。

4 現在、泊病院の体質改善施策を積極的に推し進めておられるが、地域住民の信頼に応えうる公立病院として、今後の医療体制等の中期計画を9月定例議会までに作成されたい。

陳情の「国立病院、療養所の存続について」は、諸般の状況を勘案のうえ、継続審査にすべきものと決した旨、報告されました。

産業建設委員会

付託案件については、それぞれ原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の要望・意見がありました。

1 消雪装置の町単事業施工にあたり、地下水の渇水問題や地盤沈下等の問題点を十分に調査し、電気料金等の一部地元負担問題及び積雪何メートル以上の屋根雪降しなどに対する補助制度等の試案を次の6月定例議会までに作成されたい。

2 都市計画税の課税を前向きに検討されたい。

3 鉄工団地の遊休地と宮崎の観光地を有機的に結ぶ、積極的な施策を講ぜられたい。

4 他用途利用米の政府買入れ価格と生産者米価の差額を町単で助成するなど、積極的な農業施策を講ぜられたい。

請願の「朝日小屋の改築について」及び「消雪施設の設置について」は、それぞれ諸般の状況等を勘案のうえ、継続審査にすべきものと決した旨、報告されました。

◀質問は一人一人が登壇して

代表・一般質問の中から

今期定例会から、代表質問と一般質問の質問事項が事前通告制になりました。

また、質問、答弁とも演壇に登壇して発言することになりました。

3月定例会では、15名の議員から49件の質問があり、その中から主なものの概要を紹介します。

公徳心の高揚を 社会教育等で努力

質問 最近、成人式等に出席する青年諸君の公共施設等に対する〝モラル〟の低下が著しく、学校教育及び社会教育等において、公徳心の高揚を図る施策を充実する考えがないか、お尋ねいたします。

答弁 教育は、人間としての徳、体、知の調和を目指し、学校教育と社会教育が一体となり、補完的に進めることが大切で、自由と権利の主張もさることながら、それ以上に責任と義務を重視して、公徳心を伸ばし、公の立場に立った時と、個人の立場にある時の区別をつけ、公共物を大切にし、社会生活において迷惑を掛けることのないよう、社会教育等で公聴心のレベルアップに努力いたします。

朝日中学校のプール 59年度に用地取得を

質問 昨年の12月議会に提出された朝日町総合計画実施計画書では、朝日中学校プールの建設用地取得が59年度に計画されておりますが、59年度の当初予算に計上されておらず、その点をどのように考えておられるのか、お聞かせ願います。

答弁 朝日中学校のプール建設用地の取得については、朝日町開発公社の59年度事業として対応することにしております。

消雪装置 地下水量の調査が先決

質問 県単事業の無雪街づくり事業の一環として、消雪装置が一部の主要道路に設置されておりますが、今後、町単事業として設置の請願や陳情等があった場合、どのように対処されるのか、また、受益者負担問題等もどのように考えておられるのかお聞かせ願います。

答弁 道路に対する消雪装置の効果が非常に高いものであることは、今冬の豪雪で立証されたとおりで、各地区から多くの要望を受けております。しかし、地下水の無秩序な揚水は、地下水位の低下をもたらし、生活用地下水の欠如、地盤沈下の誘因になるおそれもあり、地下水量の調査による安全揚水量の確認が先決と考えます。

また、維持管理費用の受

審議日程

3月9日 開会（会期決定、提案理由の説明）
3月10日 本会議（議案説明）
3月11日 休会
3月12日 本会議（議案説明）
3月13日 本会議（議案説明、質疑）全員協議会
3月14日 休会（議会運営委員会）
3月15日 休会
3月16日 休会
3月17日 本会議（質疑、代表質問、一般質問）委員会（北陸自動車道対策特別委員会）
3月18日 休会
3月19日 委員会（環境厚生委員会）
3月20日 休会
3月21日 委員会（環境厚生委員会、産業建設委員会）
3月22日 委員会（総務教育委員会）
3月23日 休会
3月24日 本会議（委員長報告、質疑、討論、表決）閉会

可決されたもの

昭和59年度予算

- ●朝日町一般会計予算（34億8千7百16万8千円）
- ●朝日町国民健康保険特別会計予算（6億7千5百69万5千円）
- ●朝日町老人保健医療事業特別会計予算（9億9千4百36万円）
- ●朝日町国民健康保険診療施設笹川診療所特別会計予算（9百16万4千円）
- ●朝日町国民健康保険診療施設宮崎診療所特別会計予算（7百38万9千円）
- ●朝日町国民健康保険診療施設境診療所特別会計予算（1千6百3万円）
- ●朝日町簡易水道特別会計予算（2千9百6万4千円）
- ●朝日町南保外二地区用水特別会計予算（3百97万3千円）
- ●朝日町加藤奨学資金特別会計予算（12万4千円）
- ●朝日町保健文化賞基金特別会計予算（27万9千円）
- ●朝日町立泊病院事業会計予算（17億9千9百6万円）

条例

○制定したもの

- ●朝日町森林総合利用施設使用料条例
- ●朝日町山村広場設置条例

一部改正したもの

- ●朝日町職員定数条例
- ●朝日町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例

益者負担制度についても慎重に検討いたします。

実践教育の導入を
勤労体験学習等を推進

質問　人間性豊かな人間形成を目的とし、汗を流して物を作ったり創造するなど、働く喜びを学ぶ朝日町独自の実践教育を採用する考えがないかお尋ねします。

答弁　今日の教育は、豊かな人間性を開発し、心身共にたくましい児童・生徒の育成を図らねばなりません。

新年度には、国、県の指定を受け、勤労体験学習、生徒指導、道徳教育、体力向上などを、地域ぐるみの教育を重視しながら推進したいと考えております。

転作の町単助成
第2期の方針を堅持

質問　新年度から始まる第3期水田利用再編対策事業の一環である転作奨励作物について、町単の助成を考えておられないか、お聞かせ願います。

答弁　新年度からの第3期水田利用再編対策については、基本的な考えとして、第2期水田利用再編対策の方針を堅持し、転作定着化奨励補助金等を助成することにしております。

旧泊中学校の跡地
文教施設に

質問　旧泊中学校の跡地を、将来どのように有効活用されるのか、お聞かせ願います。

答弁　旧泊中学校の跡地については、現在、教育センター及び社会教育団体が活用しておりますが、将来、青少年の集団宿泊研修を中心とした文教施設等に利用できないかと検討いたしております。

黒里川を2級河川に
準用河川の指定を

質問　月山、草野、赤川の各地区を流れる黒里川を、県の2級河川に昇格するよう、県に陳情する考えがないかお聞かせ願いたい。

答弁　当面は、関係機関と協議し、準用河川としての指定を早急に行い、河川の維持管理をしたいと考えております。また、手続的にも、まず準用河川として認定しなければ、2級河川として知事に申請して、認可を得ることとなります。

町道拡幅改良について
用地の同意が得られ次第

質問　若草町から清水町へ抜ける町道の拡幅改良工事等の完成時期は、いつごろになるかお聞かせ願います。

答弁　町道の若草町・清水町線の改良計画については、全体計画をもとに用地交渉を行い、了解を得た所から改良・舗装を進めておりますが、未改良区間については、用地買収の同意が得られ次第、改良工事等に着手したいと考えております。

小学校の改築
社会情勢を踏まえ柔軟に

質問　昭和52年第2次学校教審から3校案という方針が答申されてから、7年余りが経過しており、住民の方々とのコンセンサス等の諸問題もあると思いますが、各小学校の建物の老朽化が著しいことでもあり、統廃合等も含めた今後の教育方針をお聞かせ願いたい。

答弁　今後の小学校問題については、昭和52年に第2次学校教審から、複式学級になる小規模校の解消と泊小学校の大規模化をなくするよう、3校案が適当と考えられるとの答申を受けていますが、今後の児童の推移と社会状勢の変化を見ながら、柔軟な対応をしていかなければならないと考えています。

墓地公園
60年以降に用地を

質問　昭和59年度の当初予算に墓地公園調査委託料が計上されておりますが、具体的な設置場所並びに何区画を予定し、実施時期はいつ頃になるのか、お聞かせ願いたい。

答弁　墓地公園の設置につきましては、要望も高まっており、新年度に墓地公園基本構想計画を策定したいと考えております。場所につきましては、墓地公園としての聖地にふさわしい安らぎの得られる環境で、交通の利便性も勘案し、市街地に近い丘陵地を予定しております。時期については、昭和60年度以降に用地取得等を行いたいと考えております。

観光の答申
今後の調査・研究を待って

質問　昨年の4月に商工観光課が新設されると共に「朝日町の観光を考える20人委員会」が組織されてから約1年間経過いたしますが、その間において、当町の地形、風土にマッチした斬新な中間答申がなされているとすれば、お聞かせ願いたい。

答弁　「朝日町の観光を考える20人委員会」の中間報告につきましては、昨年の12月定例会において、町長から報告されたとおり、それぞれの具体的な施策の内容等に触れていないので、今後の調査・研究結果を待って、議会のご審議を賜りたいと思っております。

保育児童減少対策
地元と充分に協議

質問　当町の保育措置児童数が毎年減少しているのに、超過負担が大きく、町民に対しPRをすると共に保育行政の今後の対応策をどのように考えておられるのか、お聞きいたします。

答弁　保育所の措置児童数が、毎年減少しており、超過負担が増額となっている実態や保育料について、保護者の理解に努めているところであります。今後、3歳未満児及び障害児保育等についても積極的に取り組むと共に小規模保育所の統合や改築を契機とした統合など、今後とも地元と充分に協議を重ね、円滑な保育行政の運営に努めたいと考えております。

新庁舎の建設
町内調達等を指導

質問　新庁舎建設工事の発注に際し、地元業者を優先していただきたいが、もし、それができないとすれば、地元労務者の雇用、建設資材等を地元で調達するよう行政指導をする考えがないか、お聞きいたします。

答弁　町の建設工事の発注につきましては、従来とも町内業者優先の原則を第一義としているところであります。

しかし、高度な技術と力量を要する大規模工事は、たうえ、2級河川として知事に申請して、認可を得ることとなります。

町道拡幅改良について
用地の同意が得られ次第

質問　若草町から清水町へ抜ける町道の拡幅改良工事等の完成時期は、いつごろになるかお聞かせ願います。

答弁　町道の若草町・清水町線の改良計画については、全体計画をもとに用地交渉を行い、了解を得た所から改良・舗装を進めておりますが、未改良区間については、用地買収の同意が得られ次第、改良工事等に着手したいと考えております。

小学校の改築
社会情勢を踏まえ柔軟に

質問　昭和52年第2次学校教審から3校案という方針が答申されてから、7年余りが経過しており、住民の方々とのコンセンサス等の諸問題もあると思いますが、各小学校の建物の老朽化が著しいことでもあり、統廃合等も含めた今後の教育方針をお聞かせ願いたい。

答弁　今後の小学校問題については、昭和52年に第2次学校教審から、複式学級になる小規模校の解消と泊小学校の大規模化をなくするよう、3校案が適当と考えられるとの答申を受けていますが、今後の児童の推移と社会状勢の変化を見ながら、柔軟な対応をしていかなければならないと考えています。

墓地公園
60年以降に用地を

質問　昭和59年度の当初予算に墓地公園調査委託料が計上されておりますが、具体的な設置場所並びに何区画を予定し、実施時期はいつ頃になるのか、お聞かせ願いたい。

答弁　墓地公園の設置につきましては、要望も高まっており、新年度に墓地公園基本構想計画を策定したいと考えております。場所につきましては、墓地公園としての聖地にふさわしい安らぎの得られる環境で、交通の利便性も勘案し、市街地に近い丘陵地を予定しております。時期については、昭和60年度以降に用地取得等を行いたいと考えております。

観光の答申
今後の調査・研究を待って

質問　昨年の4月に商工観光課が新設されると共に「朝日町の観光を考える20人委員会」が組織されてから約1年間経過いたしますが、その間において、当町の地形、風土にマッチした斬新な中間答申がなされているとすれば、お聞かせ願いたい。

答弁　「朝日町の観光を考える20人委員会」の中間報告につきましては、昨年の12月定例会において、町長から報告されたとおり、それぞれの具体的な施策の内容等に触れていないので、今後の調査・研究結果を待って、議会のご審議を賜りたいと思っております。

保育児童減少対策
地元と充分に協議

質問　当町の保育措置児童数が毎年減少しているのに、超過負担が大きく、町民に対しPRをすると共に保育行政の今後の対応策をどのように考えておられるのか、お聞きいたします。

答弁　保育所の措置児童数が、毎年減少しており、超過負担が増額となっている実態や保育料について、保護者の理解に努めているところであります。今後、3歳未満児及び障害児保育等についても積極的に取り組むと共に小規模保育所の統合や改築を契機とした統合など、今後とも地元と充分に協議を重ね、円滑な保育行政の運営に努めたいと考えております。

新庁舎の建設
町内調達等を指導

質問　新庁舎建設工事の発注に際し、地元業者を優先していただきたいが、もし、それができないとすれば、地元労務者の雇用、建設資材等を地元で調達するよう行政指導をする考えがないか、お聞きいたします。

答弁　町の建設工事の発注につきましては、従来とも町内業者優先の原則を第一義としているところであります。

しかし、高度な技術と力量を要する大規模工事は、町外の大手業者を加えた競争入札により発注いたしております。新年度からの着手を予定しております新庁舎建設事業は、その重要性や工事の規模からいたしまして、まさに朝日町発足以来の大事業であり、やはり過去の大事業の前例のごとく、町外の大手業者を加えた発注方法が最も適切ではないかと考えております。

その結果、仮りに町外業者が受注することになっても、資材等は可能な限り町内で調達することはもちろん、下請工事は特殊なものを除き、全面的に町内業者を利用することなど、町として強力に指導しなければならないと考えております。

冬期の河川改修回避を
関係機関に働きかける

質問　今冬において、桜町及び平柳地区では降雪による水害がたびたびあり、河川改修のため、河川に水が少量しか流れないことが大きな要因だと思いますので、河川改修は積雪時期を避けるよう関係機関等へ働きかける考えがないか、お聞きいたします。

答弁　今年の降雪時期に数か所で河川工事が実施されており、これらが原因で河川の流水を制限し、下流の住民の方々にご迷惑をおかけしたわけでありますが、今後このようなことのないよう県土木事務所等の関係機関に働きかけたいと考えております。

他用途利用米の助成
しかるべき対応を

質問　当町の基幹産業である農業は、第3期水田利用再編対策の転作事業の一環として、他用途利用米制度が導入され、今年度は、当町に1975俵という他用途利用米が課せられておりますが、当町独自の助成制度を他市町村に先がけて導入する考えがないか、お聞きいたします。

答弁　他用途利用米の助成については、新年度の県予算案に計上されておりますので、町も、しかるべき対応をいたしたいと考えております。

また、県下の市町村に先がけての助成制度はできないと思っておりますが、他の市町村並に善処いたしたいと考えております。

●朝日町長、助役及び収入役の給料その他の給与及び旅費支給条例
●朝日町教育委員会教育長の給料その他の給与及び旅費支給条例
●朝日町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
●朝日町簡易水道条例
●道路占用料条例
●朝日町立公民館設置条例

昭和58年度補正予算
●朝日町一般会計補正予算（第7号）
●朝日町簡易水道特別会計補正予算（第2号）
●朝日町立泊病院事業会計補正予算（第4号）

その他
●不動産の取得に関する件

承認されたもの
●地方自治法第179条による専決処分の件
○昭和58年度朝日町一般会計補正予算（第6号）

同意されたもの
●朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件

藤田　覚平（66歳）
三枚橋140

答申されたもの
●人権擁護委員候補者を推せんするため意見を求める件

請願・陳情
継続審査になったもの
●消雪施設の設置について
●朝日小屋の改築について
●大型間接税導入反対について
●国立病院、療養所の存続について
●北陸自動車道の環境整備について

審議未了となったもの
●健康保険制度改正反対について

議会の用語解説

◎定例会　付議事件の有無にかかわらず、定例的に招集される会議であり、毎年、4回以内において条例で定める回数（当町の場合は4回）招集される。

みんなの広場

うちのあいどる

私の名前は「フンちゃん」です。
ほんとうは「ヒロミ」だけど，まだ言えないのです。
歌は，うまく歌えないけど，「めだかの兄弟」と「民謡」がとくいです。
「ハアア～」
朝日町山崎　山崎　稔さん長女裕美さん（昭和56年８月28日生れ）

お父さん，お母さん。お子さんの写真に簡単な紹介文を付けて，役場総務課まで送ってください。

大学に劣らない診療体制の確立を！

スポットライト

新泊病院院長
中野　護（まもる）

長年泊病院の院長として，地域医療に貢献された，柳沢院長が勇退され，その後任として中野護先生が着任されました。そこで今回は，中野新院長にスポットを当ててみました。

中野院長は，昭和18年６月生れの40歳。出身は，東京都。
昭和45年３月に新潟大学医学部を卒業され，静岡労災病院，新潟大学医学部助手を経て，昭和53年11月から富山医科薬科大学第３内科に勤務され，この４月から泊病院の院長に就任。
なぜ医者という職業を選んだのか尋ねると，「特に強い理由はないのですが，小学生時代に試験管でアイスキャンデーを作った印象が脳裏に残っています。大人になったらフラスコで作ってみたいと思ったのかもしれません」とのこと。
また，「なぜ内科医に」と尋ねると，「幼少のころは，母親が話せるのか心配したほどの無口だったんです。現在もその名残りがありますけど……。それで，医学部のころ，いろんな人と対話できるのは内科が最もチャンスがあると考えたからなんです」。
そこで，泊病院に着任された現在の心境を尋ねると，「大学での生活から離れホッとしています。また，新たな研究テーマに沿って頑張りたいと思っています。そして，病院では，大学の診療に決して劣らない診療体制を確立したいと思っています。絶対に可能です」とやる気いっぱいという感じでした。
そして，持にうったえたいことを尋ねると，「すべてのことにおいて，チームプレーに徹することを願っています」とのこと。
チームプレと聞いて，何かスポーツでもやっておられるか伺うと，「最近は時間もありませんが，ゴルフをやります。緑が多く，一時的にも視力が回復した様な気持ちになります。それと，野球観戦が好きです。巨人ファンで，時々朝までビデオで観戦しています」とのこと。
さて，好きな言葉を尋ねると，「自然（nature）という言葉が大好きです。大学の研究室の実験では，なかなかお目にかかれない現象でした」とのこと。
なお，町の印象を伺うと，「古い町並みが印象的です。ネオンがあまり無いのも良いですね」と，温和な人柄をしのばせる発言でした。

声

広報あさひに注文
―広報モニターの提言―

広報モニターの皆さんに「広報あさひに注文する」と題して話し合っていただきました。以下はその要旨です。

●折り込みは少なく

広報あさひの中に，「みんなの税」などたくさんの配付物が折り込まれてきますが，ともすると広報の“おしらせかわら版”さえ，いっしょに外してしまい大切な町の情報を読まないことがあります。折り込みはできるだけ少なくするとともに，「かわら版」とは違うページに折り込んでほしい。

●議会だよりの内容

広報の中で掲載する「議会だより」は，議会広報とは違うので，議員さんの生の声を掲載するわけにはいかないし，かといって集約しすぎると，議員さんの発言要旨とは違う意味に取られることも考えられ，掲載しにくいということは聞いておりますが，もう少し内容を豊富にできないものでしょうか。

●工事か所の掲載を

工事をどの業者にいくらで発注し，工期はいつまでだと掲載できないものですか。そうすれば，住民には工事がいつから始り，交通事情がどうか分るし，住民監視にもなり良いのでは。

あなたのご意見を

この欄にあなたのご意見を。テーマは自由です。町を良くする建設的な意見を待っています。

なかまたち

大家庄 郷土誌編さん委員会

町内のさわやかさんを紹介します。
町内に住んでおられる方ならどなたでもけっこうです。広報係に御一報を。

さわやかさん こんにちは！

井口慶子（いぐちけいこ）さん
（大家庄・18歳）

普通自動車の免許を！

★勤務先
朝日町警察官派出所，（黒東交通安全協会の書記）

★趣　味
音楽・絵画鑑賞

★家族構成
両親と妹，祖父，祖母の６人家族

泊高校商業科を59年３月に卒業。今年の４月から黒東交通安全協会に。
多くのドライバーの方々と知り合え，それだけ多くの方々に奉仕ができるからと思いこの仕事を選びました。現在は，安全協会で取扱っている運転免許証の記載事項の変更届等，ドライバーへのサービス業務を担当しています。
まだまだ新米なので，ただただ毎日を夢中で過ごしていますが，早く慣れてミスの少ない仕事をしたいと思っています。
今年はぜひ普通自動車の運転免許証を無事取りたいと思っています。また，横溝正史の本を全部読みたいと思います。
理想の男性は，年上の方で，包容力があり，たよれておもしろい人がいいな。得意な料理は，なべやきうどん，コーヒーゼリーなど。

郷土誌を印刷発行

下新川郡史稿を中核とした「大家庄郷土誌」が昭和８年に発行されてから，もう50年を経過し，ほとんどが散逸していました。
これを悲しんだ川上前大家庄公民館長が「昭和８年に発行された郷土誌を，コピーでも良いから再発行してもらいたい」と要望して退任されました。
しかし，ガリ版刷のため，あまり鮮明ではなく，コピーより活版印刷の方が良いのではという声が強く，しかも，どうせ印刷するのなら，経過した50年分も調査し，掲載しようということになりました。
そこで，昭和55年から準備を始め，大家庄郷土誌編さん委員会（編集主任　野村久四（公民館長），編集委員　林　一雄（農協指導課長），弓野良二（公民館主事），由井久也（公民館書記））を設け，○発掘調査が語る大家庄の歴史，○丈部庄，○町村合併，○大家庄郵便局，○保安と福祉，○農業，○農業用水，○教育と文化，○郷土の人物，○神社，○戦没者，と追録する内容を決め，原稿を依頼しました。
予定では，57年度中に発行することになっており，57年にいったんは締め切ったものの，集まらない原稿もあり，また不備な点を検討し直したりと大変でした。
そうした中で，昭和58年の８月に，ようやくにして原稿がそろったものの，編集委員はそれぞれの仕事を持っているため，委員会を開催することができず，編集作業が遅れ12月に入って，やっと印刷所に原稿を渡すことができました。今となって見ると，この間の遅れが残念でなりません。
しかし，編集にあたった私たちにとって，50年分の村の歴史を調査し，後世に残せる機会を得たことは無上の喜びであり，後世の人の参考になれば幸せと思っています。
また，郷土誌は百年を区切りにすると，資料が散逸し，古老の話も定かではなくなるため，50年を一区切りとして編さんすることが望ましく，今後も50年ごとに編さんされることを願ってやみません。
なお，大家庄郷土誌はＢ５判250頁で，千部の限定出版といたしました。希望される方には，実費にて頒布いたします。

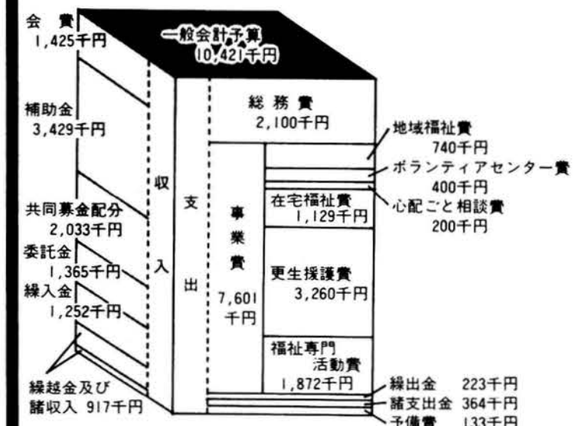
◀校正に集まった仲間たち

明るい福祉の町づくりをめざして

昭和59年度の町社協予算と事業

朝日町社会福祉協議会の59年度事業計画と予算が、先の評議員会で決まりました。

今後の活動には、皆さんのご意見や参加をお願いしながら、民間福祉団体の特性を生かし、「ふれあい」と「おもいやり」に満ちた明るい福祉の町づくりを進めたいと考えています。



主な活動

1、福祉の啓発と調査

- 広報「ふくしの窓」の発行
- 福祉ニーズ調査と概要書作成
- 社会福祉大会

2、在宅福祉と
ボランティア活動の推進

- 心配ごと相談所の開設
- 世帯更生資金の貸付
- 福祉団体の活動援助
- 福祉スポーツ大会
- 福祉ふれあいまつり
- 独居老人ランチサービス会
- 一日里親会
- 歳末たすけあい運動
- ボランティアの育成と活動援助

3、善意銀行事業の充実

- 善意銀行の活用促進
- 福祉募金
- 地域善行運動の支援

4、社協の強化、活動基盤の整備

- 地域福祉計画の具体的検討
- 福祉関係者の研修活動

ボランティア 障害者 交流点字講習会がスタート

"障害者の社会参加を"そして"日の不自由な方にも情報を"との合言葉で、点訳講習会がスタートしました。

講習会は、ボランティアの皆さん十数名と、視覚障害者協会の方々の合同で、相互の交流を兼ねて月に2回開いています。

点字の初歩から真剣に学ぶボランティア、そして改めて技術向上をめざす障害者の皆さんで、楽しく進められています。特に、中国から帰国された浜川旭江さん（29歳）は、日本語と点字の両方習得が必要というハンディにも負けず、とても明るく、自分で点字を打ち、カタコトの日本語で朗読に励まれる姿に、参加者一同は感激と点訳活動の必要性を再認識しています。

今後は、テープ録音による「声の便り」なども取り入れながら講習を続けることになっています。

▲点訳の講習風景

ありがとう あたたかい志

朝日町善意銀行預託
（3月11日～4月10日）

♥東草野生活学校さんより衣類
43点，カバン2点

♥新川信金泊支店預金係さんより
古切手 1,298枚

♥泊 桑守即慧さんより 5,000円

♥細野 山崎きよゑさんより拾得物報労金 80,000円

・社会福祉協議会は皆さんと共に地域の福祉向上をめざす民間福祉団体です。

59年度事業計画・表彰者決まる

―― 朝日町体育協会 ――

朝日町体育協会の総会が3月30日に開催され、昭和58年度の事業報告がされたあと、59年度の事業計画が決められました。

また、その席上、体育協会の表彰式が行われ、多年に渡って町のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著であると認められた26名の方々が受賞されました。

■昭和58年度総合優勝

優勝 大家庄地区
次勝 五箇庄地区
参勝 泊二区地区

■事業計画

5・13 町民軟式庭球大会
5・20 朝間野球大会
6・3 町民卓球大会
町民バドミントン大会
6・17 町民硬式テニス大会
7・4 町内対抗ソフト大会
7・15 町民野球大会
町民ソフトボール大会
8・18 少年ソフトボール大会
10・23 夜間バレーボール大会
11・11 町民駅伝マラソン大会
11・25 町民バレーボール大会
町民ビーチバレー大会
町民柔道大会
11・27 夜間バドミントン大会
2・3 町民スキー大会
3・10 町民バスケット大会

■表彰受賞者

○表彰状

野田 論（境）
折谷 要（笹川）
笠原寿人（五箇庄）

○感謝状

田中恒雄（泊一区）
大菅千之（〃）
臼本喜一（〃）
鍛治忠夫（泊二区）
居波久一（泊三区）
斎藤俊雄（〃）
広田敬二（〃）
舘 昭一郎（〃）
舘 貞雄（〃）
木村正嗣（泊三区）
西岡正夫（〃）
舘 敏夫（五箇庄）
吉井武志（〃）
石井 敏（大家庄）
由井久也（〃）
高島久子（〃）
富岡禮子（〃）
高松美佐子（〃）
勝原 実（南保）
谷口 敏（〃）
近藤清一（〃）
堀地 茂（〃）
中島英輔（〃）

5月26日 県民スポーツ大学を開催

―ソフト世界選手権大会監督来町―

県民スポーツ大学は、広く県民にスポーツに親しむ機会を提供し、自ら実践するスポーツへの導入と継続的な活動を促進させ、生涯スポーツの飛躍的推進を図るために開催されています

■主催 富山県教育委員会
■共催 開催担当市町村各教育委員会
■種目 ソフトボール
■日時 昭和59年5月26日（土）
午後1時30分～4時
■場所 朝日町民総合グラウンド
■対象者 青壮年と指導者
■申込期間 開設1週間前（5月19日）まで

申込方法、携行品等詳細については、朝日町教育委員会（☎82－1104）及び総合体育館（☎83－1838）に問合せてください

■講師 ソフトボール世界選手権大会監督下奥信也氏

お知らせ

県体育関係事業（5月）

- 12日（土）～13日（日）
県民スポーツ大学"健康体操"
（12日大沢野町，13日福野町）
- 15日（火）～18日（金）
野外活動指導者研修会
（愛知県）
- 18日（金）～19日（土）
女性スポーツ活動指導者研修会
- 22日（火）～24日（木）
野外活動指導者講習会
（大山町）
- 26日（土）～27日（日）
県民スポーツ大学"ソフトボール"（26日朝日町，27日大門町）

・1人1スポーツを

町への寄附

3月11日～4月10日

多額のご寄附をどうもありがとうございました。

○沼保の川瀬工務店代表 川瀬隆吾さんより，朝日町町制施行30周年記念事業にと 100万円の寄附がありました。

○泊の島田利勝さんより朝日中学校にモニューマン台座の寄附がありました。

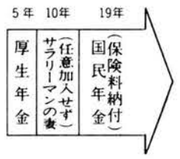
○道下の平野幸太郎さんより図書10万円相当の寄附がありました。

国民年金 相談室

No.17

問 私は，サラリーマンの妻ですが，会社に５年間勤務し，結婚と同時に退職，10年間国民年金に加入しないでいたのですが，人に進められて19年間，国民年金保険料を納付したのですが，厚生年金５年，国民年金19年とあわせて24年しかなく最低25年を満たしておらず，保険料は掛け捨てになるのでしょうか。

答 サラリーマンの妻ということですから任意加入となります。



左図で，任意加入をしなかった期間を生かした通算老齢支給例を説明しますと，任意加入しなかった期間（カラ期間）の10年を加えると通算老齢年金受給に必要な25年の期間を満たし，厚生年金から５年分，国民年金から19年分の年金が受けられます。

ただし，カラ期間は受給資格期間に算入されますが，年金額の計算対象にはなりません。なお，昭和36年４月以降の期間に限ります。

計算方法は，先月号⑯を参照してください。

告知板

泊病院から

新院長に中野護氏

長年泊病院の院長、副院長、眼科医として貢献された、柳沢院長、川上副院長、川上(容)先生が勇退され、その後任として中野院長をはじめ新たな先生方を迎えました。泊病院では、この人事刷新に合わせ最新鋭医療器機を導入し、地域の基幹病院として皆さんの期待に応えようと努力しています。なお、柳沢先生には、引き続き名誉院長として毎週金曜日の内科外来診療を、川上十一先生には産婦人科を担当していただくことになっています。

新任医師の略歴

院長 中野 護

昭和45年新潟大学医学部卒業。新潟大学医学部助手等を経て昭和53年から富山医科薬科大学講師。専門は消化器。東京都出身、医学博士。

副院長兼眼科医長 窪田叔子

昭和54年金沢医科大学卒業。岐阜県神岡町立病院、済生会富山病院で勤務。専門は循環器。婦負郡八尾町出身。

小児科医長 稲場 進

昭和56年順天堂大学医学部卒業。新潟県立吉田病院等を経て、昭和58年富山医科薬科大学助手に。魚津市出身。

外科副医長 白崎 功

昭和57年富山医科薬科大学卒業。富山県立中央病院、福井県三国町立病院で勤務。小矢部市出身

診療科別一般外来診療日程

曜日	月		火		水		木		金		土	
科別	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小児科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外科	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
整形外科	○		○		○		○		○		○	
眼科	○	○	○		○		○		○	○	○	
産婦人科	○				○				○			
泌尿器科						○						
皮膚科		○		○						○		

なお、救急患者については随時診療します。

内科医長 赤川直次

昭和48年信州大学医学部卒業。虎の門病院勤務、信州大学講師等を経て昭和57年に富山医科薬科大学第一内科外来医長に。専門は呼吸器。朝日町山崎出身、医学博士。

内科副医長 藤沢貞志

昭和29年千葉大学医学部卒業。国立千葉病院眼科医長、西ドイツギーセン大学助手、川崎製鉄千葉病院眼科部長等を経て昭和54年富山医科薬科大学講師に。神奈川県出身、医学博士。

内科医長 赤川直次

昭和48年信州大学医学部卒業。虎の門病院勤務、信州大学講師等を経て昭和57年に富山医科薬科大学第一内科外来医長に。専門は呼吸器。朝日町山崎出身、医学博士。

内科副医長 藤沢貞志

昭和54年金沢医科大学卒業。岐阜県神岡町立病院、済生会富山病院で勤務。専門は循環器。婦負郡八尾町出身。

小児科医長 稲場 進

昭和56年順天堂大学医学部卒業。新潟県立吉田病院等を経て、昭和58年富山医科薬科大学助手に。魚津市出身。

外科副医長 白崎 功

昭和57年富山医科薬科大学卒業。富山県立中央病院、福井県三国町立病院で勤務。小矢部市出身

青年団から

あなたも参加しませんか美化奉仕

朝日町連合青年団では、社会活動の一環として、来たる5月13日、宮崎海岸一帯の清掃活動を行います。自然への思いやりと愛情を育てながら、皆さんと交流し、仲間意識を深めたいと考えています。ぜひ参加してください。詳しくは連青事務局へ(☎83－1560)。

日時 5月13日（日）午前7時30分～
集合 宮崎小学校グラウンド
準備品 軍手、弁当

〒 郵便局から

重度の身体障害者（一、二級）の方に〝青い島はがき〟を差し上げます。

希望される方は、手帳を持参して、郵便局に申し出てください。代理の方でも可。

○期間 4月20日～6月1日まで
○枚数 一人20枚まで。

愛の献血 —協力者名3月実施分—

境地区 水島明香、水島永人
宮崎地区 嘉義久美子
笹川地区 折谷信祐、小林隆二
泊一区 飛弾治安、居波映子
泊二区 田沢和夫、草野伸幸、山崎幾代、高桜きみ枝、東崎忠、脇山哲郎、下沢愉美子、米田芳男、竹内秀孝、米田正克、村上泉、松原志好、寺田幸雄
泊三区 大村和義、大村浩一、西島哲明、稲村幸子
五箇庄地区 小川孝幸、田中伸司、金沢清、廣田慎一郎
南保地区 長崎孟
山崎地区 秋山正美、江端孝雄、野田サク子、谷智恵子、花房清孝、名古屋岳弘、永口久代
大家庄地区 大野寿嗣、西田正憲、藤田好子、東英徳、廣川敬子、清水悟、広川直樹、吉田伸、沢田久子、水野誠（46名）

5月のけんこう

最近の子供たち

—生活習慣実態調査から—

最近、町の小中学校で「だるい」「疲れる」「気持ちが悪い」「めまいがする」と訴えて保健室を訪れる子供が増えています。そこで、その原因を調べるため、小学校4年から中学校3年までの児童、生徒を対象に『基本的生活習慣調査』を実施しました。その中から、6年生のものを抜すいしてみました。

調査の結果、朝顔を洗わないことのある子が15・7㌫もあり、洗わない理由として、入浴中に洗うから朝洗わなくてもよいと考えている子がいます。

歯みがきでは、朝又は夜1回の子が半数以上です。むし歯予防の面から朝、夜の2回は磨いてほしいものです。

また、朝食を毎日食べない、時々食べないを合せると13㌫。食べない理由として「食べたくない」「準備をしてない」などで、親の怠慢もあるようです。

朝気持よく起きられる子は、わずかに15・7㌫。時々つらい、いつもつらいが大半です。一時間目の授業ですっきりしているが半数しかなく、残りはあくびが出る、だるい、ぼうっとしているです。

学校を休みたいと思う者67㌫。休みたい理由は、だるい、疲れる、なんとなく。

その他、就寝時間、起床時間にも問題が見られます。

このように生活習慣の乱れが続けば、自律神経失調症、貧血、骨折、肥満、むし歯とすべてに影響を与えます。

子供たちが、健康で生き生きした毎日が過ごせるよう、子供たちの生活習慣を見直しましょう。

（朝日町生活習慣実態調査から，小学校六年）

トピックス まちのうごき

▲表彰された方々

3月23日

優良農業生産者表彰

昭和58年度富山県「米作改良選賞」「農業選賞」「集落営農選賞」の表彰式が3月23日，むらぐるみ農業推進大会の席上，富山県農協会館8階大ホールにおいて行われました。

これは，県ならびに県米作改良対策本部・県農林漁業振興会が主催しているもので，農業生産に優れた実績を挙げている個人及び団体を選賞し努力をたたえるもので，朝日町からは，個人の部で2人，団体の部では4団体の方々が受賞されました。

米作改良選賞

個人の部

・米つくり優良生産者
　河村吉継　（月山）
・土づくり優良生産者
　森岡元就　（山王）

団体の部

・米作改良優良生産団体
　下山新生産組合（代表　西島義秋）
・土づくり優良生産団体
　山崎地区生産組合長会
　（代表　水野春雄）

農業選賞

団体の部

・転作優良集団
　山崎新生産組合（代表　水野久義）

集落営農選賞

集落の部，県知事賞
　坊生産組合（代表　中野捨義）

3月28日

朝日町農業大学を開催

この日，朝日町中央農協2階ホールにおいて，朝日町農業大学が開かれました。これは稲作づくりの最大の目標である基本技術の徹底を図るなどムダを省く稲づくりを進めるとともに，一般知識をも含めて修得するため，朝日町農業振興促進協議会が主催しているものです。今回は農業生産に意欲的な農家の方々110名程度の参加を得ました。

〈今後の日程〉

第2回　5月29日(火)
　○稲作生育前半期の管理ポイント
　○統計から見た富山の食生活
第3回　6月27日(水)
　○稲作中期の管理技術
　○地域でのふれあい
第4回　7月下旬
　○稲作後期の管理技術
　○農家における家族問題

（自由に受講できます。なお，詳細なことについては，役場農林水産課に問いあわせてください。）

3月30日

宮崎でロケ開始

宮崎を舞台にした映画「朽ちた手押し車」の成功を祈って，主演の田村高広さん，長山藍子さんをはじめ，キャスト，製作スタッフ約40名が，地元の鹿島神社に勢ぞろい，参拝しました。

この日は，この成功祈願のあと，撮影がスタートし，親不知海岸などの風景を撮ったほか，親不知の理髪店で，長山さんらが出演するシーンを撮影しました。

映画は，漁業の町を舞台とした「尊厳死」をテーマとしたもので，主演の田村さんは「難問を抱えた大変なドラマです。見た目には，けっして楽しいものではありませんが，見る人の心に染み入る作品にしたい」と抱負を語っておられました。

撮影の成功を祈願する田村高広さん，長山藍子さん

3月30日

出漁航海安全祈願

町出漁組合では，この日午後1時30分から，泊脇子八幡宮において，出漁航海安全祈願祭を行いました。

これは，4月になると，遠洋漁業者が出漁されるため，毎年今ごろに実施しているものです。

なお席上，県出漁組合連合会長から遠洋漁業に功績のあった次の方々が表彰されました。

◦佐　渡　行　宏（赤　川）
◦佐　渡　浅　男（　〃　）
◦松　原　茂　美（松涛町）

3月6日

野々村仁清の供養塔完成

▲開眼供養式のようす

不動堂の百河豚（いっぷく）美術館に，色絵京焼の陶工，野々村仁清の供養塔がたち，開眼式が行われました。

供養塔は，みかげ石で高さ3㍍，重さ6㌧とりっぱなもので，同館の庭園池の中ノ島に置かれている大ガメの背の上に建立されました。

式は，10時50分から関係者約40名が参列し，同館理事長の青柳政二氏作詞作曲の「仁清供養讃歌」の流れるなかしめやかに行われました。

4月12日

みこしの火渡り

▲燃えさかる火の中を進むみこし

この日夜，南保高畠神社で，県内でも珍しい火渡り神輿（みこし）の神事がありました。

これは，明治35・36年ごろ，コレラの大流行の年に悪病退散を祈願して始められ，約80年の歴史があります。

午後1時にスタートしたみこしは，60戸の集落の中を練り回り，午後9時過ぎ，参道の両わきに置かれたワラ束のたいまつに火を付け，その中をゆっくりと神社鳥居前の広場へ。そして，燃えさかるワラ束の山を「ヤーッ」と掛け声とともに，一気に火の中を駆け抜け，境内に入りました。

加藤八郎さん行政相談員に

加藤八郎さんが4月1日付けで，行政管理庁長官から，当町担当の行政相談委員に委嘱されました。行政相談委員は，役所や公社の仕事に対する苦情や相談に応じるものです。

今月の表紙

入学して2週間，1年生は今……。

泊小学校では，4月19日に「1年生を迎える会」を催しました。

この会は，児童会の2年・3年生が中心になって，歌や踊りを通じて，1年生も学校のふんい気に慣れてもらおうと開いたもの。「子犬のマーチ」や「もしもたぬきが世界にいたら」「手をたたきましょう」などの歌をみんなで歌いました。

その後，普段どおりの授業がありましたので，教室をのぞいて見ると，絵を見て物語りを作る「こくご」の授業で子供たちは，元気いっぱいに手を上げたり，自分の作った文章を読みあげていました。

新しい社会教育委員に

朝日町教育委員会では，新たに社会教育委員として，次の方々に委嘱しました。

野田　諭　朝日中学校長
仙名和彦　朝日町連合青年団長
柳沢珠子　朝日町連合婦人会長

おしあわせに

○笹　川　竹　内　雅　和
○魚　津　市　中　田　美智子
○西下町　東　敏　男
黒部市　紙屋富恵
○向陽町　長沼貞信
○神戸市　上之原福江
○月　山　永井靖裕
入善町　寺林美千代

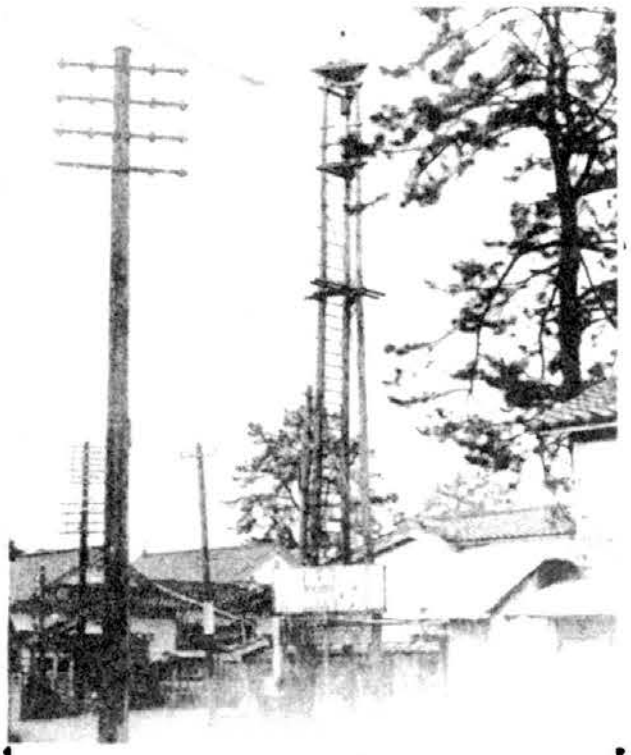
おすこやかに

東下町　加藤秀樹　長女　里菜
中三浦町　新田均　長男　雄
本町　広川正是　長男　一男
向陽町　西島雅樹　長男　啓太
〃　中川伸之　長女　磨依
清水町　平田邦明　長女　明子
中道下　椿弘文　長男　大輔
上道下　大島清計　長男　寛朗
平柳二区　河村智明　二男　誓
月山　山田猛　長女　直美
草野　吉江敏則　二女　美沙紀
蛭谷　北山憲治　二男　幸治
辻岩崎　水野貢　三女　綾子
細野　佐藤実　長男　大介

ごめいふくを

○月山新　水口幸裕
富山市　山本奈緒美
○草野　折戸俊
草野　折戸加奈代
○赤川　佐渡祐一
清水町　田村久美子
○町南保　南部俊昭
下野　石井朝子
○蛭谷　米丘英一
新潟県　椎野うら子
○辻岩崎　安達義則
黒部市　小倉照恵
○細野　小杉嘉博
○三枚橋　藤田朱実
○殿町　熊修
○魚津市　堀敦子
○殿町　本田涼一
新潟県　松澤淳子

宮本町　加藤秀雄　66
〃　九里一二　69
〃　毅　69
上町　福地カヨ　78
〃　寺田裕子　73
清水町　長野勲　21
〃　寺田ツヤ　80
荒川五丁目　草野仙太郎　78
小在池　建守政則　69
〃　黒崎あい　87
〃　野口きよ　66
殿町　初田信義　52



あなたの本箱

朝日町立中央図書館

3月の貸出しベスト5

①風祭
②三毛猫ホームズのびっくり箱
③真幻魔大戦⑫
④伝われ、愛
⑤浸蝕

読書感想

「よだかの星」を読んで

朝日中一年　氷見　恵さん

よだかは、心の美しい鳥です。姿が美しい鳥やするどいつめを持ったり立派な口ばしをした鳥たちにかぎって心がせまく心がみにくいというのは、本当に無理かもしれませんが、もっとやさしく答えてあげればよかったと思います。しかしこの物語の最後によだかは、隣の火のような青い光になってのぞみどうり星になったのでよかったと思います。この童話を読んで心の美しさの大切なことを知りました。

・竹の家の人々　木村　楢
・私の中のシンデレラコンプレックス　木村　治美
・赤眼評論　椎名　誠
・聖母病院の友人たち　藤原　作弥
・さらばネクラ病　桂　戴作
・ロマンス　NHKドラマガイド

小説

・ダンスと空想　田辺　聖子
・男猫の眸のほめき西村　寿行
・渇きの街　北方　謙三
・夢枕　模
・魔獣狩り
・青春の源流④　森村　誠一
・恩讐の川面　豊田　穣
・真実の瞬間　赤川　次郎

新しい本

一般書

・野菜のケーキ　主婦と生活社

おれんげ読書会

日時　5月9日(水)　午後1時30分～3時30分
会場　福祉センター茶道室
テキスト　ガラスのうさぎ　高木　敏子

まちのアルバム

泊町の火ノ見櫓

泊の火ノ見櫓は，明治の前半に建てられたようだが，大正に入るころには既に木柱が腐朽し，消防団員が登る時には，グラグラと揺れて危険なため，昭和の初めに鉄骨に建て替えられた。そのうちに鐘もサイレンに切り替えられ，火ノ見櫓も無用の長物となり，ついにその姿を消すに至った。写真は本町金井洋品店前で，左端の建物は往時の泊郵便局で，右へ直海印刷所，消防ポンプ小屋，泊警察署と並び，荒川通りの入口には人力小屋があった。街の中心にのっそりとそびえ立った火ノ見櫓は何となく間の抜けた，それでいてのどかで平和的な風物詩であった。

◀現在の泊五差路付近

広報室

▼今月号には、皆さんが町長に直接手紙で意見を述べていただく「やまびこ通信」の用紙を折り込みました。町長へのたよりといっても、かしこまる必要はありません。皆さんが日ごろから感じていることや考えていることを記入して、ポストに入れるだけです。気軽に利用してください。皆さんのすばらしいアイディアや提言を待っています。

▼また、広報あさひでは、「声」「うちのあいどる」「なかまたち」「告知版」の原稿と、「さわやかさん」の紹介を募集しています。こちらもよろしく。

人口と世帯

	3月1日	4月1日	増△減
世帯数	5,082	5,036	△46
人口	18,829	18,755	△74
(男)	8,896	8,865	△31
(女)	9,933	9,890	△43

広報あさひ　■発行/朝日町役場　〒939-07 富山県下新川郡朝日町沼保810-5 電話 0765(83)-1100（毎月1日発行）